

株式会社 西京銀行

平成30年3月期 決算報告



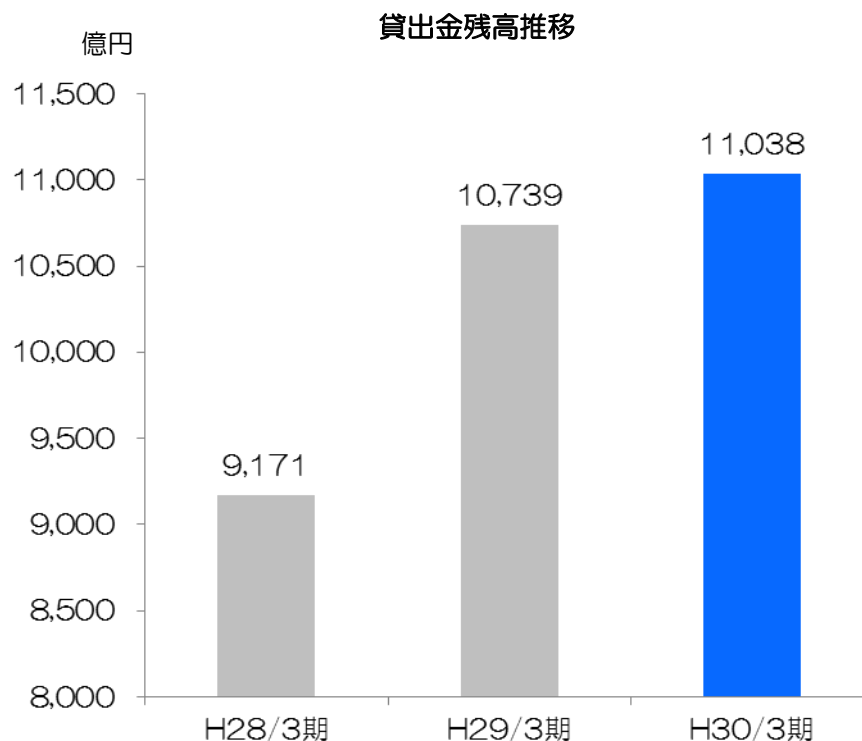
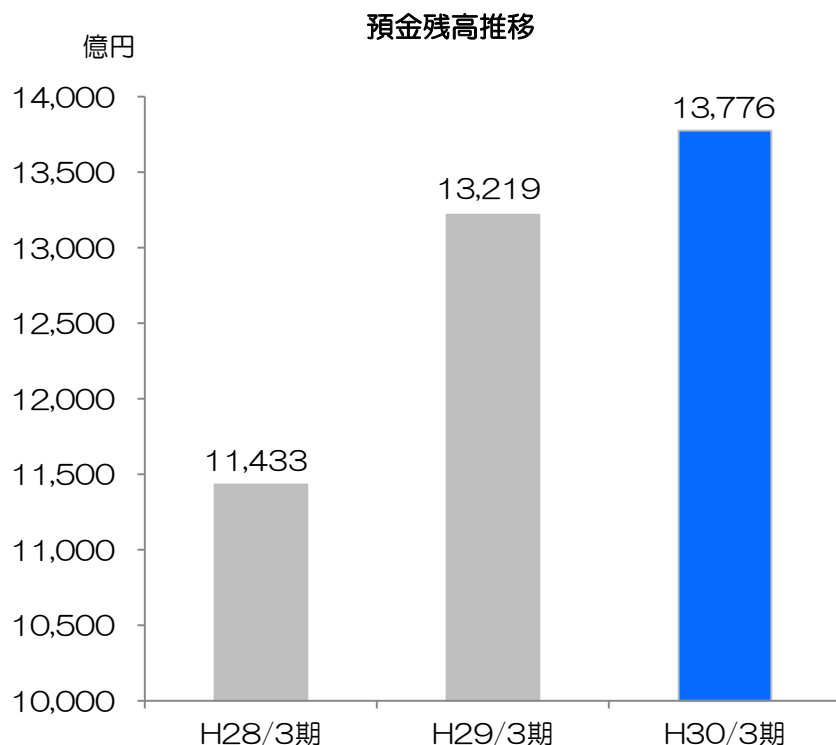
平成30年3月期 決算ハイライト ……P. 2

地方創生に向けた取組み ……P. 10
(金融仲介機能のベンチマークについて)

平成30年3月期 決算ハイライト

- 預金残高対前年同期比**557億円増加** 貸出金残高対前年同期比**298億円増加**
- 当期純利益において**7期連続の増益決算** 過去最高益を更新
- 業務純益において**17億円増加**
- 開示債権比率は**1.29%** 業態最高水準

- 預金残高は年金定期預金がご好評いただき、対前年同期比557億円増加
- 貸出金残高は住宅ローンを中心に、対前年同期比298億円増加（バランスシート調整893億円）

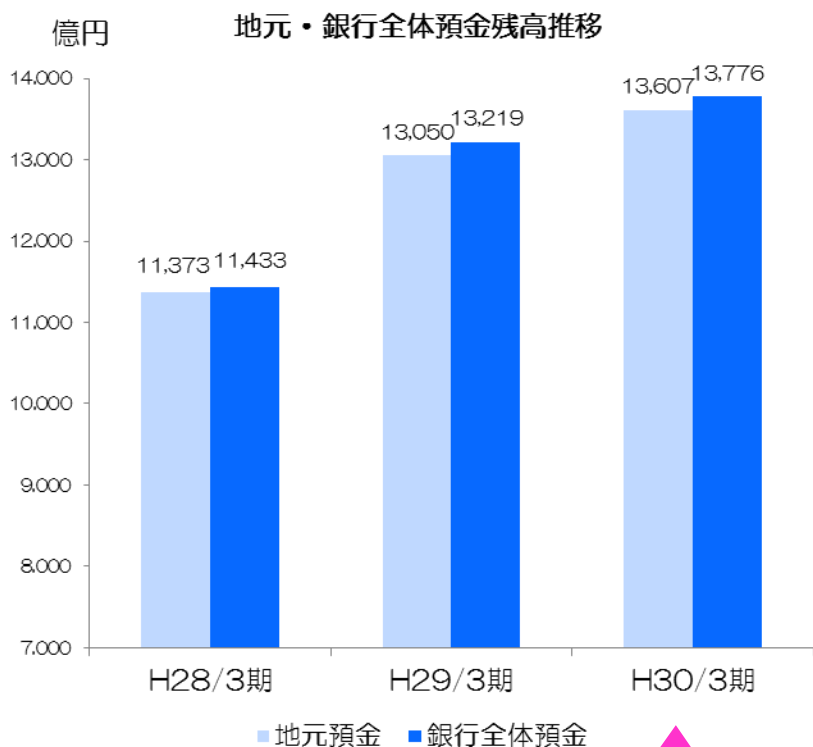


- 業務純益において対前年同期比1,779百万円増加
- 当期純利益において7期連続の増益決算、過去最高益を更新いたしました

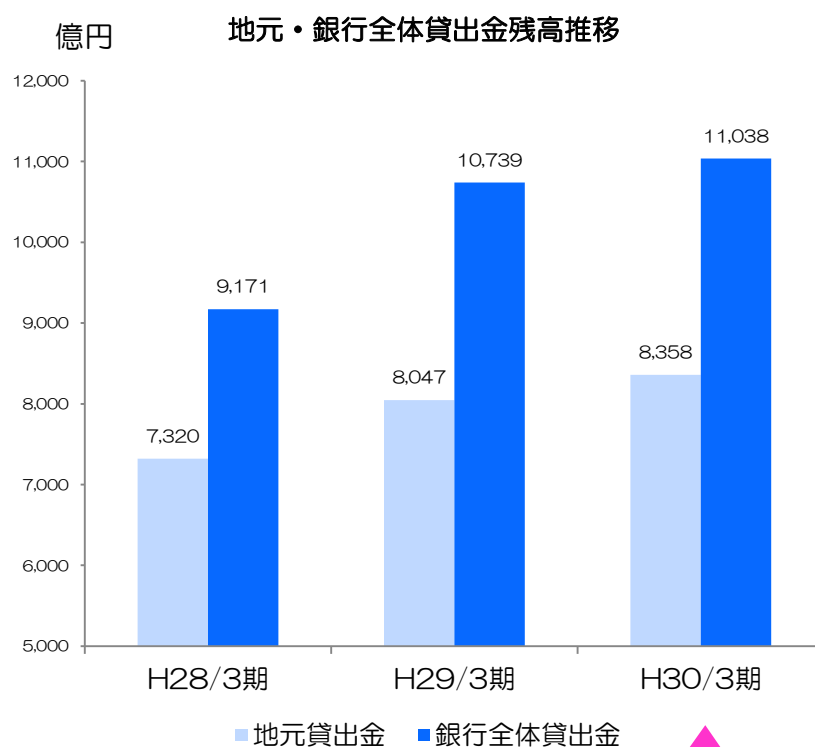
(単位:百万円)

	H28/3期	H29/3期	H30/3期	前年同期比
経常収益	24,436	28,255	27,628	▲627
業務純益	4,398	3,982	5,761	1,779
当期純利益	3,955	4,018	4,109	91

●地域の皆さまからお預かりした大切な預金を、資金を必要とされている地域の事業者さまや個人のお客さまに、借入金としてお使い頂く『資金の地域内循環』を進めています

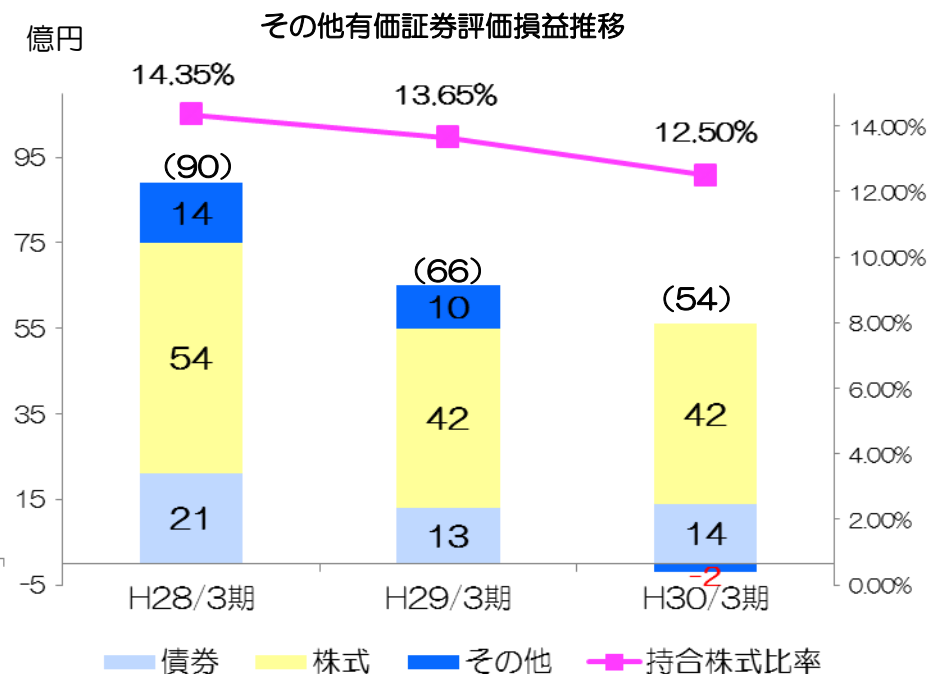
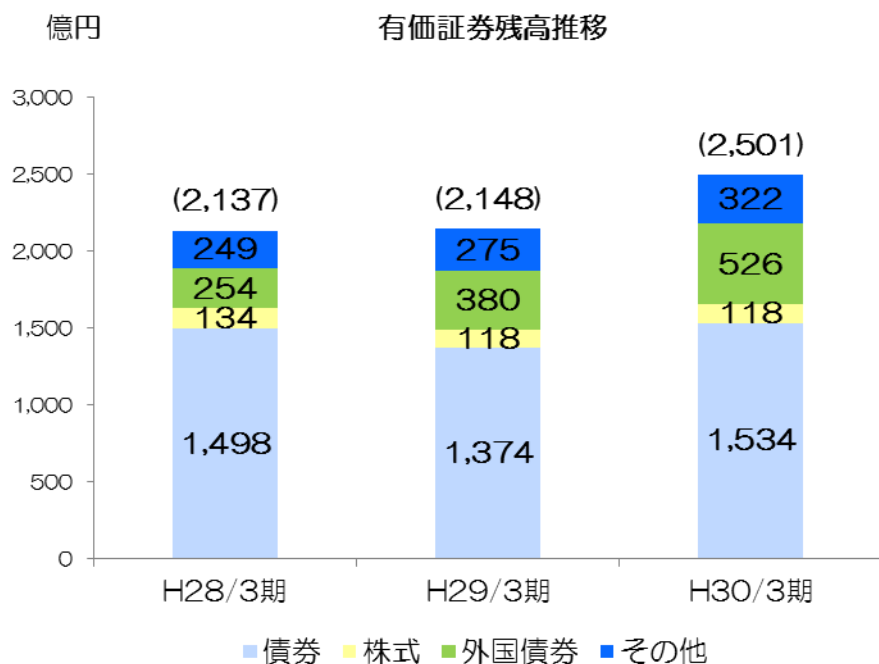


地元割合
98.7%



地元割合
75.7%

- 有価証券運用は、引き続き債券を中心に安全性を重視
- 当行では、積極的な持ち合い解消方針のもと、政策株式の売却を進めており、その他有価証券評価損益は減少傾向ですが、引き続き当期純利益の1年以上の高い水準を維持
- 持合株式比率※は前年同期比1.15ポイント減少（29/3：13.65% → 30/3：12.50%）
（※持合株式比率＝株式持合先当行株式保有数/当行発行済株式数）



- 厳格な資産査定に基づく早期の対応により、開示債権比率及び開示債権額も減少
- 開示債権比率は、業態最高水準

金融再生法基準での開示債権比率

28/3期 1.66% → 29/3期 1.44% → 30/3期 1.29%

部分直接償却前開示債権比率

28/3期 2.04% → 29/3期 1.73% → 30/3期 1.59%

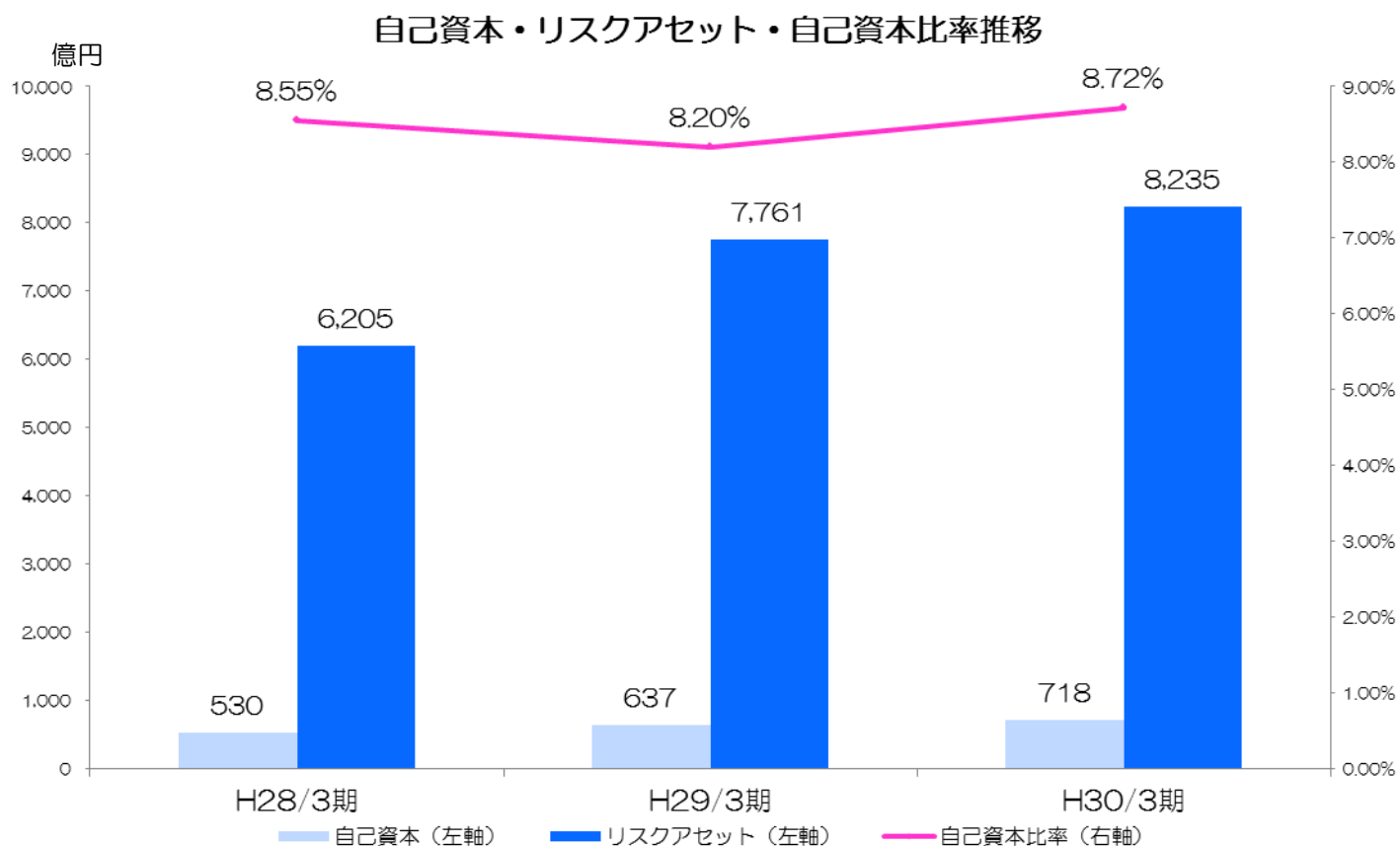
開示債権額

28/3期 155億円 → 29/3期 157億円 → 30/3期 143億円

自己資本比率の状況




- 銀行業界初のライツイシューによる増資並びに利益の積み増しにより、0.52ポイント上昇
- 国内基準(規制値4%)を大幅に上回る、8.72%



地方創生に向けた取組み

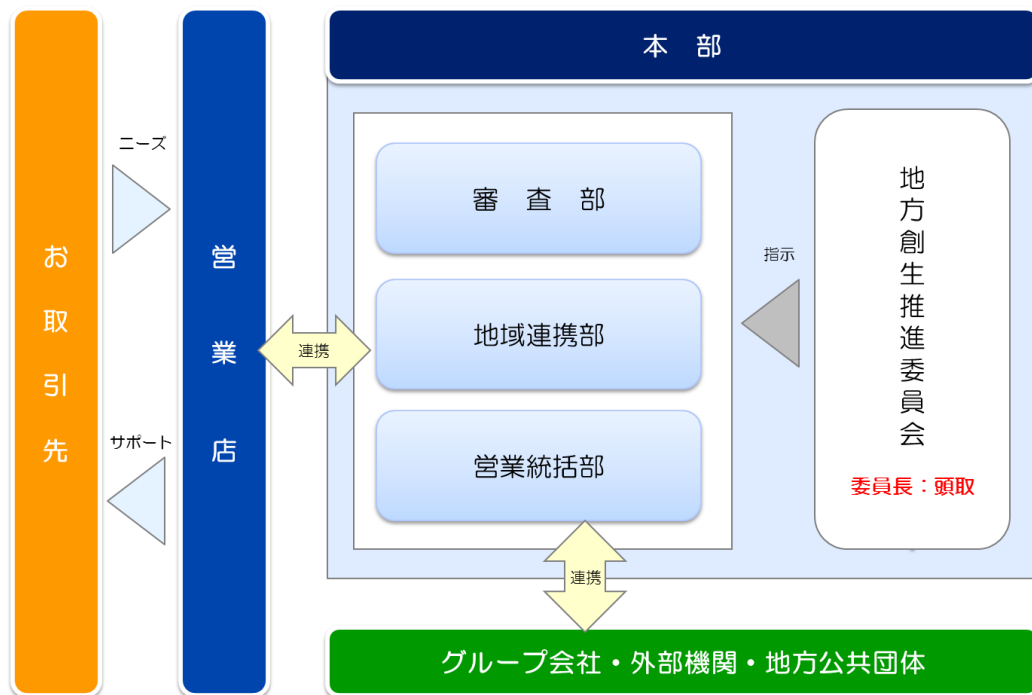
(金融仲介機能のベンチマークについて)

- ◆ 金融庁が公表した「金融仲介機能のベンチマーク」のうち、当行が積極的に推進を図っていく取組みを開示しており、該当のものには、 と表示しております。

お客様の経営サポートに関する取組み

- 地域経済の健全な発展に貢献するため「地方創生推進委員会」を中心とした推進体制を整備
- きめ細かい経営サポートにより、**全取引先数※は対前年同期比9.1%増加**（※取引先…事業所融資先）

～地方創生推進体制～



ベンチ
マーク

● 全取引先数と地域の取引先数の推移

▶ 全取引先数

H29.3月末	H30.3月末	前年同期比
16,608先	18,120先	+9.1%

▶ 地域（山口県）の取引先数

H29.3月末	H30.3月末	前年同期比
11,217先	11,874先	+5.8%

創業・新規事業所開拓サポート

● 『さいきょう実践創業塾』開催

- 地域での創業にチャレンジする皆さまを積極的に応援
- 創業計画から実現へ、外部専門家と連携し全面サポート
- 過去6回開催 134名卒塾



経営改善・事業再生・業種転換等のサポート

● 「中小企業再生支援協議会」「経営改善支援センター」連携によるコンサルティング活動

中小企業再生支援協議会相談持込件数	4件
経営改善支援センター案件持込件数	13件

● 審査部、地域連携部による行員のスキルアップを実施(平成29年度)

審査部	経営コンサルティング能力向上研修	8回	30名	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士の指導の下、経営診断報告書の作成 ・お客様へ交付し、企業経営にお役立ていただく
	事業性評価研修	2回	184名	<ul style="list-style-type: none"> ・事業性評価の実践・ポイントの確認 ・経営課題の発見力・改善策の提案力の向上
地域連携部	事業承継・M&A研修	3回	280名	<ul style="list-style-type: none"> ・M&Aを推進する意義について ・基礎知識、手順、スキーム、会計、財務、法務、推進方法の習得
	医療研修	2回	232名	<ul style="list-style-type: none"> ・医療経営の基礎・従業員の労働問題・事業承継についての知識の習得 ・訪問医療機関での会話力の向上

成長分野におけるサポート

●海外進出を目指すお客様向け

『さいきょうぶちうまコレクション2017in高雄』開催

—台湾での商品のPR・販売・現地企業との商談会をサポート

—4社の商談が成立、お客様のニーズを実現！



★商談成立内容★

会社名	商談先	商品内容
(株)井上商店	JASONS Market Place	水産加工品 (しそわかめ・しそひじき・かに雑炊スープ等)
山口地ビール(株)	太冠国際開発事業	クラフトビール (ヴァイツェン・スタウト・萩ゆずエール等)
(株)ヘルシーライフ	JASONS Market Place	混合茶 (チャーミングキュット・フレグランスキュット)
(株)小澤	JASONS Market Place	調味料、ジュース (まほうのつゆ・まほうだし・健康ゆず茶等)



ベンチ
マーク

●担保・保証に依存しない融資の対応状況

(平成30年3月末)

▶ 地元中小企業と信先のうち、無担保融資の割合

無担保融資先数	無担保融資残高
78.4%	41.3%

▶ 地元中小企業と信先のうち、 根抵当権を設定していない与信先の割合

根抵当権未設定割合
79.9%

▶ 中小企業向け融資のうち、信用保証協会保証付き 融資額の割合、100%保証付き融資額の割合

信用保証協会保証付き 融資残高	100%保証付き 融資残高
15.1%	5.7%

ベンチ
マーク

●経営者保証に関するガイドラインの対応状況

経営者保証に関するガイドラインとは、

中小企業の経営者等の個人保証における合理的な保証契約の在り方等を示すとともに、主たる債務の整理局面における保証債務の整理を公正かつ迅速に行うための準則を定めたものです。

(平成29年度)

	実績
新規融資に占める経営者保証に 依存しない融資の割合	74.9%
- 新規で融資した件数	6,035件
- 新規に無保証で融資した件数	4,523件
既存保証契約を解除・変更(減額)した 件数	223件
保証債務整理の成立件数	0件

* 信用保証協会等保証付融資を除く

楽天証券との提携

- ファンドラップの取扱いを全店でスタート
 - ー 山口県内各地でミニセミナー・個別相談会を開催
 - ー お客様の資産運用のお悩みを解消し、ファンドラップをはじめとした楽天証券の豊富なラインナップをご提案



TATERU・TATERU Fundingとの提携

- 不動産投資型クラウドファンディング
 - ー 物件を小口化し、1口1万円からの少額投資が可能に
 - ー 申込、取引履歴、収益管理などすべてスマートフォンで手軽に操作



★お手続きイメージ★

《①さいきょうインターネットバンキングより、TATERU Fundingサイトへジャンプ》

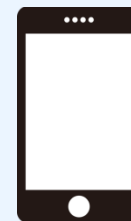
《③ログイン》

《⑤出資の応募》

《②会員登録》

《④物件の選択》

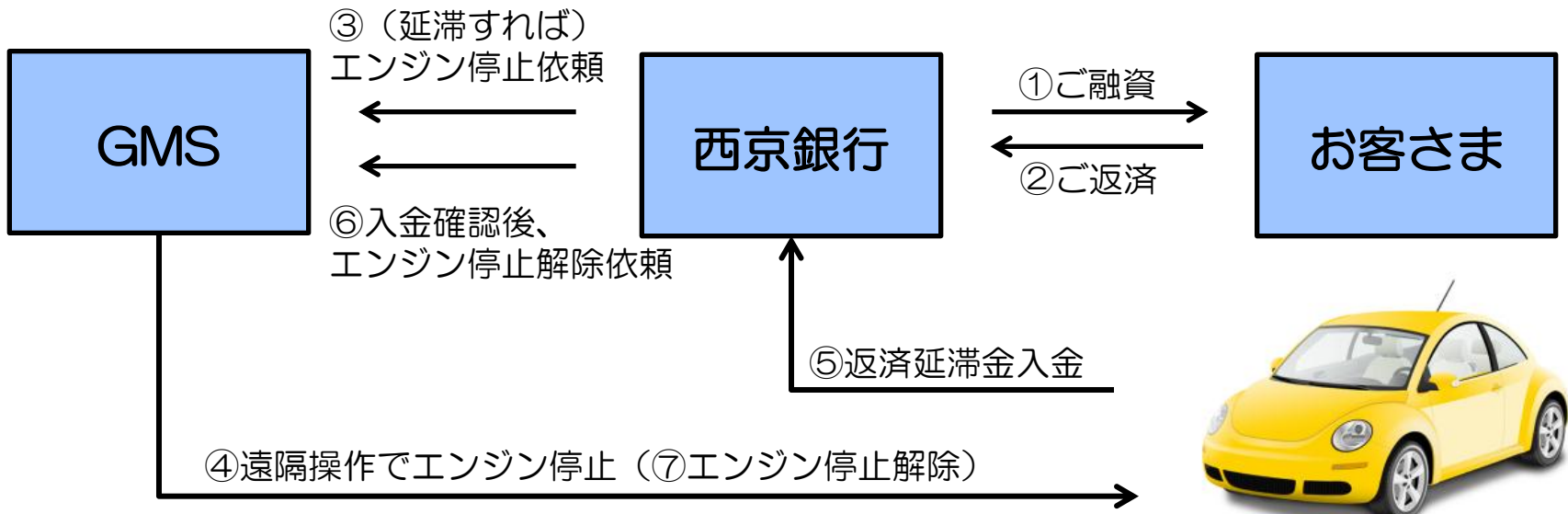
全てスマホで
手続き完了!



Global Mobility Serviceとの提携

●GPS制御機能付マイカーローンの取扱開始

- “車の価値” に着目した新たなマイカーローン
- 若年層や年金受給中の高齢層など幅広いお客さまへのご融資が可能
- 多くのお客さまに「車のある生活」を



ジュニアの育成

●バドミントン教室の定期開催

—平成29年度実績：計12回、約800名参加

●「チーム山口」への参加

—中高生との合同練習会へ毎月参加

—ジュニアの競技力向上を促進



イベントへの参加

●ACT SAIKYO presents バドフェス

—被災地復興イベント『第7回がんばろう
日本フェア』に出演

—トークショーやスマッシュ実演で地域交流



戦績

●齋藤選手国際大会で優勝

—平成30年3月27日～4月1日フランスで開催

—国際大会での優勝 通算4勝目

—世界ランキング53位(4月5日付)



山口県内大会情報

●全日本実業団バドミントン選手権大会へ出場

—平成30年6月13日～17日

—拠点とする周南市・下松市での地元開催

—交流人口の増加に貢献

出場者数：約2,000名

“山口県をバドミントン王国に！”